



The Tohoku University 21st Century COE Program in Humanities: Open Lecture Series on Language, Brain and Cognition

東北大学 21 世紀 COE プログラム (言語認知総合科学)

第 39 回「言語・脳・認知」公開講演会

日本語学から一般言語学への貢献：

個別言語研究と通言語的研究のインタアクション

講師：角田太作、東京大学大学院人文社会系研究科教授

Speaker: Professor Tasaku Tsunoda, University of Tokyo

使用言語：日本語

Language: Japanese

日時：2006 年 7 月 14 日 (金) 午後 3 時～ 4 時半

Date: Friday, 14 July 2006, 3:00-4:30pm

場所：東北大学川内北キャンパス (マルチメディア棟 6 F ホール)

Venue: Multimedia Building 6th Floor Hall, Kawauchi-kita Campus, Tohoku University, Sendai, Japan

Website: <http://www.lbc21.jp>

要旨：本講演では、日本語のデータに基づく言語学研究のうち、一般言語学に貢献してきた、あるいは今後貢献しうる研究を、主に意味と統語の分野に限って紹介し、日本語という個別言語の言語学的研究が通言語的にどのような示唆を持ちうるかを論じる。更に、講演者自身の連体修飾節と敬語に関する新しい、通言語的な分析を提案する。本講演で取り上げる日本語の文法現象は以下のとおりである。(i) アスペクト、(ii) 従属節、(iii) 節・文の接続、(iv) 使役構文、(v) 連体修飾、(vi) 談話 (思考プロセス)、(vii) 敬語、(viii) 所有傾斜。

第 40 回「言語・脳・認知」公開講演会

談話理解研究と授業実践

講師：邑本俊亮、東北大学大学院情報科学研究科助教授

Speaker: Professor Toshiaki Muramoto, Tohoku University

使用言語：日本語

Language: Japanese

日時：2006 年 7 月 19 日 (水) 午後 3 時～ 4 時半

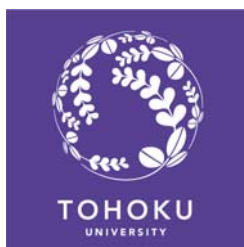
Date: Wednesday, 19 July 2006, 3:00-4:30pm

場所：東北大学川内北キャンパス (マルチメディア棟 6 F ホール)

Venue: Multimedia Building 6th Floor Hall, Kawauchi-kita Campus, Tohoku University, Sendai, Japan

Website: <http://www.lbc21.jp>

要旨：これまで人間の談話理解に関して多くの研究成果が蓄積されてきている。教育心理学の領域においては、そうした研究成果を教育実践に積極的に役立てようとする動きも盛んである。本講演では、授業は談話であるという立場から、授業実践のあり方について、講演者自身の実践を紹介しながら、議論を展開する。まず、学習者の談話理解過程について概説する。そして、同じ授業を行っても、学習者によって伝わる内容が異なる可能性があることを再確認する。次に、学習者の談話理解過程を踏まえたうえで、学習者が理解しやすい授業とはどんな授業であるかを考察する。すなわち、授業理解を促進するための方策について、講演者自身の工夫を紹介しつつ、議論する。最後に、学習者にとって役に立つ授業とはどんな授業かについて考察する。学習者が授業内容をたとえ当該の授業の中で理解したとしても、それを活用すべき別の場面で役立てられなければ意味がない。その場限りの理解、その場限りの知識ではなく、後の新たな場面で役に立つ、活きた知識とするために、教員はどのような支援をすべきであるのかについて、学習の転移の問題と関連させながら論じる。



問い合わせ先 Send inquiries to:

東北大学 21 世紀 COE プログラム (言語認知総合科学) 事務局
(東北大学大学院国際文化研究科内)

Tel: 022-795-7550, Fax: 022-795-7850,

E-mail: office@lbc21.jp, URL: <http://www.lbc21.jp>